

五感のてらこや

プログラム名 「五感で感じる四季」

グループ名 春・夏・秋・冬(はる・なつ・あき・ふゆ)
メンバー :三山、高井、光森、中村、富田、清水

背景

日本は四季のある国なのに、
季節の移り変わりなどを感じなくなっている傾向がある。

デジタル機器の発達や情報多過により、実体験をする機会が減っている。

また親世代もじっくり観察したり、感じたものを表現する力が乏しくなっている。

ねらい

- 忘れつつある日本の四季の移り変わりの一部を実際に外に出て生物の多様性を五感をフルに使って体験し感じてもらう。「見る」「聴く」「嗅ぐ」「触れる」「味わう」
- また、季節により食べられる植物などもあるので、生態系の成り立ちの一部についても学べる機会とする。「いのちを頂くことによって、いのちが繋がっていることに感謝する」

- 環境学習を軸に、実生活にかかわりの深いテーマを織り交ぜその中で環境と健康や暮らしとのつながりを感じ、理解、実践してもらえる機会とする。
- 昔の寺子屋のような、知と仲間を得られる場とする。

※ 四季を通して、プログラムを企画・実施していく。

四季のプログラム案

春

- 動植物の目覚めの観察
- 春の野草を食べる

春

夏

- 川遊び
- カブトムシなど夏の虫の観察

夏



プログラム名『五感で感じる四季』
秋「紅葉の下で遊ぼう♪」

対象 小学生の親子
※家族としての幼児の参加も可能

定員 10名(親は含まない)

実施場所 明石公園

時期 秋 11月頃(春夏秋冬 各1~2回)

内容概要

色々な種類の秋を感じる植物(葉・枝・木の実)等を
集めてきてもらい、それらを使って自分のオンリーワンの
ネームプレートをつくる。(持ち帰り可能、お土産)

時間
約3時間

内容詳細

12:30 明石公園集合

(緑の相談所前で、スタッフが目印ののぼりを立て 待っている)
※施設前で集合し、そのまま広場へ移動

①スタッフ紹介・挨拶・ルール説明(5分)

12:35 ②アイスブレイク(簡単なネイチャーゲーム)

12:45 ミニセミナー(輪になって芝生の上などに座ってもらう)
四季の移り変わりや生態系の関わりのお話し(15分)

13:00 秋を感じよう♪(30分)・・・範囲を指定する

①秋を感じるものを探す(枝・葉・実・種)等

②みんなで集い、見せ合う

③どんぐりの虫食いなどを例にあげて
生物多様性や食物連鎖の話をする(メイン指導者)

13:30 施設の中へ(移動)(休憩)(10分)

13:40 ワークショップ(60分)

(花とみどりのまちづくりセンター研修室)

集めた植物を使って、オンリーワンのネームプレートをつくる



14:40 参加者同士で、できた作品を見せ合い、分かち合う(20分)

15:00 自然の恵みに感謝する(15分)

公園内のどんぐり(マテバシイ・スダジイ)はちみつ等



15:15 まとめのお話し(環境への関わり・・・)

15:30 解散

参加者持ち物

参加費・お茶・帽子・ナイロン袋

作品を持ち替える袋・雨具

準備物

参加者用名札(ラベルシール)・目印リボン・のぼり

受付名簿・マーカー・おつり・参加費を入れる箱・領収書・救急箱
ワークショップ用板・木の実等(事前準備分)・接着剤(グルーガン等)・
カラーマジック3組・新聞紙(机の上に敷く(傷・汚れ防止)・ナイロン袋(予備)

作品サンプル・公園マップ・集合サインの笛(ダックコール等)
試食用どんぐり・はちみつ等・紙皿・使い捨てスプーン・その他

予定経費概算

収入

参加者1人あたり500円×10名 合計5000円

支出

材料代: 板等 200円/人
接着剤 100円/人

保険代: 2000円(50名までのレクリエーション保険)

予定経費補足

※指導者謝金・交通費等・消耗品について

『五感のてらこや』として補助金申請することにより
そちらのほうで賄う予定。

※「五感のてらこや」謝金規定

メイン5000円・サブ&見守り3000円

交通費: 1000円(MAX)

指導者・スタッフ

メイン指導者1名

サブ指導者1名

安全見守りスタッフ 2名程



その他特記事項

雨天の場合は、花と緑のまちづくり研修センター(明石公園内)のみを利用して行う。

雨天の場合を想定して、事前に秋を感じる植物(葉・枝・木の実)などの材料をいづらが用意しておく。

小雨の場合は、雨の中で秋を感じるプログラムも実施する。
尚、材料については事前に準備。

広報活動

- 五感のてらこやとして、SNSで発信
(Facebookページなど)
- 地域のコミュニケーションセンターへのチラシ掲示
- 新聞、ミニコミ誌等の無料の掲示板での告知

まとめ

私たちは、この養成講座で学んだことを生かし
生物多様性などを体験することで

「いのちのつながり」

と、それを大切に思うところを養うことができる
きっかけになればという目的でプログラムを制作しました。

自分の住んでいる地域の四季を体験して、
普段の生活の中に、自然とのふれあいをとりいれてもらう

自分の住んでいるところの良さを再発見することにより
大切にしたいという思いが育まれる

身近な暮らしの中で「自ら考え」環境の保全に向け行動する

ご静聴ありがとうございます